



かみねっちょ新聞

令和5年 12月号

♪かみねのリハウス♪

早いもので今年もあと1か月。「うさぎのひろば」にウサギを展示し始めてから1年がたちます。もともとここは、ロバの展示場でしたが、ロバが亡くなり、しばらくは空獣舎になっていました。そこで、ウサギ年にちなみ、ウサギが住めるように獣舎改修を行いました。今回はそのリフォームについて紹介します。

まずは床面。

ウサギは穴掘りの名人。掘って逃げられないように一部を除きコンクリートでたたきました次に側面。

ウサギはジャンプの達人。跳んで逃げられないように、高さ 90 cmの亀甲網を柵に回しました。最後に天井。ウサギは湿気に弱い生き物。雨をしのぐための屋根を設置しました。



「うさぎのひろば全景」



「高さ90cmの網」



「雨除けの屋根」

また、ウサギたちが退屈しないように、落ち葉のプール、身を隠すための樹木、穴を掘るための砂場を用意しました。



「落ち葉プール」



「隠れ家」



「砂場」

日中は好きな場所でくつろいでいるウサギたち。中でも一番のお気に入り、砂場での穴掘りのようで、本能の向くまま芸術的な穴を短時間で掘っていきます。

しかし、夕方になると、せっかく掘った穴も飼育員の手により、平らな砂場に埋め戻されてしまいます。それでも次の日には、何事もなかったかのように穴を掘り、埋め戻され…。

このように日々、ウサギたちとイタチごっこを繰り返している「うさぎのひろば」、いろんな見方をご覧ください。

飼育員・大内

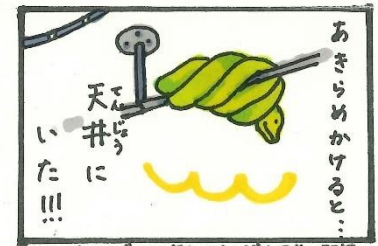
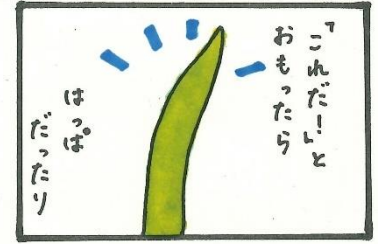
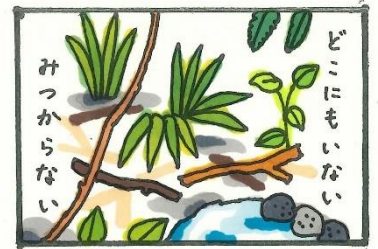
【卯】1年間お疲れ様

時の流れは早いもので、2023 年も残り僅か。今年は卯年でしたが皆さんはどのように過ごしましたか。一説によると卯年はウサギが飛び跳ねる姿から、『飛躍・跳躍・向上の年』と言われています。新しいことを始めるのに適し、それまで積み重ねてきたことが大きく発展する年とも言われています。当園でも新たな取り組みを行い、様々な進展・発展がありました。その一つが 6 月にオープンした新ビーバー舎です。以前の展示場よりも広く、水中や巣の様子を観察できるようにしました。

ところで皆さん、ウサギとビーバーは分類的に割と離れた動物種であることをご存知でしょうか。ウサギは重歯目(ウサギ目)であるのに対し、ビーバーをはじめカピバラやモルモットは齧歯目(ネズミ目)の動物です。似ている点は多々ありますが、決定的な違いは上顎の前歯。重歯目はその名の通り、前歯が二重になっています。動物園で生体を観察しているだけでは、まず気付けない違いでしょう。そんな時、役に立つのが本やインターネットです。生きて動いているからこそ分かること、文章や写真にまとまっているからこそ分かること、それぞれの利点を活かして好きな動物についてより深く調べてみてください。きっと新たな発見があり、今後の動物園巡りがさらに楽しいものになると思います。

飼育員 風間

「ミドリエビヘビをさがせ！」さく なめかわ



エメラルドヘビやミドリエビヘビは天井の配管パイプにまきついているときがあるぞうぞう!

1月の予定

- 2日(火)、3日(水) 動物園お年玉プレゼント
- 2日(火)～28日(日) 動物たちに年賀状を書こう(掲示)
- 6日(土)、21日(日) チンパンジーのお誕生日会



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください
または 0294(22)5586 まで



YouTube



X
(旧 Twitter)

SNSでも写真や動画、
最新の情報をお知らせ中!



Facebook

～サンタさんのトナカイ事情～

12月と言えばクリスマス！クリスマスと言えばサンタさん！！サンタさんと言えば、そうですね。ソリを引っ張るトナカイですね。普段はあまり注目しないかもしれませんが、ちょっとこの機会にトナカイに注目してみましよう。トナカイはシカの仲間で角が生えています。ただシカと少し違うのはメスにも角が生えているということ。日本に生息するニホンジカはオスのみに角が生え、メスには角がありません。さて突然ですがここでクイズです。サンタさんのソリを引いているトナカイはオスメスどちらでしょう！多くの方はオスと思い込んでいるのではないのでしょうか？実はソリを引くトナカイは全てメスです。トナカイはオスメス角が生えているというのは先述しましたが、秋の繁殖期が終わるとオスの角は落ちてしまいます。そのためクリスマスに角が生えているサンタのトナカイはメスという訳です。かみね動物園に残念ながらトナカイは飼育していませんが、国内には飼育している動物園があるので是非足を運んでみてください。また身近なことにちょっと疑問を持つとおもしろい発見があるかもしれませんね。